

アセットマネジメント部門

“フルセット”のコンセッション事業導入 ～三浦市公共下水道（東部処理区）運営事業～

三浦市

受賞事例の概要

- ☆ 全国4例目の下水道コンセッション事業。
- ☆ 処理区内の全ての汚水関係施設について、維持管理から改築まで対象とする“フルセット”の事業は、国内初。

事業の概要

- 対象区域・施設：東部処理区の処理場、ポンプ場、汚水管路施設の全て（マホ-ルホﾞソ等を含む）
- 対象業務：
 - ・対象施設の経営、各種計画支援、改築、維持管理
 - ・管路施設の増築
 - ・附带事業
 - ・任意事業
- 事業期間：20年間（R5.4～R25.3）
- 事業規模：約147億円（20年間の市・運営権者の支出総額）

運営権者



株主企業



＜東部処理区の概要＞



東部処理区
面積：235ha
管路延長：約59km
マホ-ルホﾞソ：14箇所

三浦市人口	41,040人
東部処理区域内	14,628人 (35.6%)
水洗化人口	13,301人 (90.9%)

※いずれも令和4年度末

検討背景

- 当市の下水道事業は、次の4つの課題を抱えており、官民連携手法による経営改善を検討。

- ① 施設の老朽化⇒点検・更新需要増大
- ② 人口減少⇒使用料収入の減少
- ③ 業務量増大に対応する職員の不足
- ④ 一般会計繰入金金の抑制が必要

PRポイント!

- ・スケールメリットの小さい小規模の下水道事業においてもコンセッション方式導入の効果を最大限発現できるよう、事業の対象施設・対象業務を可能な限り広げた。
- ・民のノウハウを活かし、「経営の最適化」「技術の高度化」「地域との協働」による「持続可能な三浦市下水道の実現」を目指して事業運営していく。
- ・中小自治体の下水道事業に共通する課題について、官民連携により解決する事業モデルに。

取組の効果!

- ・以下の効果が見込まれるほか、民のノウハウを活かした運営の効率化・技術の高度化も期待。

VFM	約4.1%（提案時）
他会計繰入金金の抑制	20年間で約2億円減
市債残高の抑制	20年間で約1億円減
市職員の削減	10人→7人に削減可
運営権対価	1,000万円（提案）

Key Person



上下水道部下水道課
田代 久・岡田 学

民間事業者から魅力的な提案を受けることを目指し、検討開始当初からマーケットサウンディングを行う、提案で変更できる項目を増やすなどの工夫をしました。この結果、2つのグループから提案を受けることができました。

また、検討には8年の時間を要し、細部のスキームづくりなどに苦労しましたが、国・県・先進自治体や民間事業者などの皆様のご協力を頂き、事業開始に至ることができました。今後は運営権者を適切にモニタリングし、市民サービスのレベルを維持しながら持続可能な三浦市公共下水道を作り上げるとともに、下水道事業の課題解決のモデルとなるよう努めてまいります。